

一面

香川

総合

おくやみ

社会

地域

スポーツ

生活情報

経済

香川SGGが創立30年式典 通訳奉仕推進へ決意

2025年3月4日

シェア

ポスト

印刷する

香川善意通訳の会（香川SGG）は、創立30周年記念式典を高松市のホテルで開いた。これまでの歩みを振り返るとともに、奉仕活動の一層の推進に向けて決意を新たにした。

同会は1994年11月に設立。現在は50人の会員が訪日客の無料通訳案内などの奉仕活動に取り組んでいる。式典は2月22日に行われ、会員や池田豊人知事、大西秀人市長ら60人が出席した。

梶久夫会長はガイドをして感謝された時の充実感、語学を通じた仲間との交流などを原動力に活動が30年間続いてきたとした上で、「今年は瀬戸内国際芸術祭、大阪・関西万博の開催年。われわれも善意通訳として、香川県や高松市における国際観光、国際交流の推進に貢献できればと思っている」とあいさつした。

近年の活動状況を紹介した後、香川大の長谷川修一名誉教授が「大地の成り立ち（ジオ）がわかれば香川は10倍魅力的になる」と題して記念講演した。



記念式典であいさつする梶会長＝
高松市

シェア

ポスト

印刷する

一覧へもどる